

BECC JAPAN 2021 プログラム

気候変動・省エネルギー行動会議
事務局 (株)住環境計画研究所
2021年6月28日作成

■ 本会議 2021年8月31日(火) オンライン開催

| 時間 | プログラム | |
|----------------------|--|---|
| 9:00~9:30 | 受付 | |
| 9:30~10:00 (30分) | 開会挨拶・来賓挨拶 | |
| 10:00~11:00 (60分) | 基調講演(発表・質疑応答含む) | |
| 11:00~11:10 | 休憩(10分) | |
| 11:10~12:10 (60分) | ポスターセッション/スポンサーセッション | |
| 12:10~13:20 | ランチ休憩(70分) | |
| | A会場 | B会場 |
| 13:20~14:35 (75分) | A1 口頭発表セッション① “HER/海外事例” ※25分/件×3件 | B1 口頭発表セッション② “学校教育/親子間コミュニケーション” ※25分/件×3件 |
| 14:35~14:45 | 休憩(10分) | |
| 14:45~16:00 (75分) | A2 ライトニング発表セッション “情報提供” ※12分/件×6件 | B2 口頭発表セッション③ “家庭の省エネルギー” ※25分/件×3件 |
| 16:00~16:20 | 休憩(20分) | |
| 16:20~17:20 (60分) | パネルディスカッション① “スタートアップ×環境・エネルギー” | |
| 17:20~17:30 | 休憩(10分) | |
| 17:30~18:30 (60分) | パネルディスカッション② “世界のナッジユニット” | |
| 18:30~18:45 | 休憩(15分) | |
| 18:45~19:30 (45分) | ネットワーキング | |

※口頭発表時間(1件当たり):発表20分、質疑応答5分

※ライトニング発表時間(1件当たり):発表8分、質疑応答4分

■ プログラムの詳細

■ A会場

| | |
|--|--|
| 口頭発表セッション① | |
| HER/海外事例 司会：未定 | |
| A1 | A1-1 |
| | スマートメータ版ホームエネルギーレポートの実証研究 向井 登志広（電力中央研究所 社会経済研究所 主任研究員） |
| | A1-2 |
| ホームエネルギーレポートによる省エネ効果の地域性・持続性に関する実証研究 平山 翔（住環境計画研究所 副主席研究員） | |
| A1-3 | |
| エネルギー事業者による DX（デジタルトランスフォーメーション：デジタル化）と GX（グリーントランスフォーメーション：脱炭素）の推進：米国での行動型 DSM 導入の最新事例に学ぶ 小林 浩人（日本オラクル、オラクル・ユティリティ・グローバル・ビジネス・ユニット (UGBU) アソシエイト・ディレクター、ソリューションコンサルティング） | |

| | |
|--|--|
| ライトニング発表セッション | |
| 情報提供 司会：未定 | |
| A2 | A2-1 |
| | ZOOM を用いた家庭用遠隔エネルギー診断 八木田 克英（東京大学 生産技術研究所 特任研究員） |
| | A2-2 |
| | ナッジとリベートの不均一な節電効果 鳶田 栄樹（産業技術総合研究所 ゼロエミッション国際共同研究センター 研究員） |
| | A2-3 |
| | Web 広報による省エネ家電買換えに対する意識・行動変化の検証 小林 翼（住環境計画研究所 研究員） |
| A2-4 | |
| 地球温暖化対策としての肉消費削減に対する消費者意識 木村 宰（電力中央研究所 社会経済研究所 上席研究員） | |
| A2-5 | |
| 家庭からの食品ロス削減を促す情報提供手法の実証調査 福田 守宏（デロイト トーマツ コンサルティング マネジャー） | |
| A2-6 | |
| 気象災害時に避難行動を促す報道発表の表現に関する研究 星野 希実（早稲田大学大学院 創造理工学研究科 修士1年） | |

■ B 会場

| | | |
|-------------|--|-------------------------------|
| B1 | 口頭発表セッション② | |
| | 学校教育／親子間コミュニケーション 司会：未定 | |
| | B1-1 | 省エネ教育推進による家庭部門の省エネ・省 CO2 の可能性 |
| | | 三神 彩子（東京ガス 都市生活研究所 統括研究員） |
| | B1-2 | 省エネ教育プログラムにおけるオンライン授業の効果 |
| | | 赤石 記子（東京家政大学 家政学部 准教授） |
| B1-3 | 家庭における親子の省エネルギー意識・行動の定着に関する研究 | |
| | 高田 宏（広島大学大学院 人間社会科学研究科 准教授） | |

| | | |
|-------------|--|------------------------------|
| B2 | 口頭発表セッション③ | |
| | 家庭の省エネルギー 司会：未定 | |
| | B2-1 | 家庭内における省エネルギー行動と意識に関する研究 |
| | | 坊垣 和明（東京都市大学 名誉教授） |
| | B2-2 | 機器の省エネ性能及び省エネに資する初期設定値変更の可能性 |
| | | 天野 晴子（日本女子大学 家政学部 教授） |
| B2-3 | 住宅居住者の生活意識と窓付属物の使用状況に関する実態調査 | |
| | 辻 果歩（東京大学大学院 工学研究科 修士課程） | |

■ ポスター発表

| | |
|------|--|
| P-1 | 長期環境家計簿でみる消費者のライフスタイルおよび省エネ技術変化の効果分析 板 明果(東北学院大学 経済学部 准教授) |
| P-2 | 住宅におけるエアコン電力消費と省エネルギー行動 岩松 俊哉(電力中央研究所 エネルギーイノベーション創発センター) |
| P-3 | 「省エネ教育」に関する指導者向け教育教材の開発 矢田 麻衣(住環境計画研究所 主任研究員) |
| P-4 | ニューノーマル時代の市民対話の手法と省エネ行動への活用の考察 福田 一成(アズビル シニアアドバイザー) |
| P-5 | 在宅避難を考慮したゼロ・エネルギーハウスにおける夏季の停電模擬実験 稲葉 愛永(早稲田大学大学院 創造理工学研究科 修士課程2年) |
| P-6 | パブリックスペースにおけるQRコードによる省エネルギー情報提示に関するフィジビリティスタディ 何 清怡(九州大学 人間環境学府 学生) |
| P-7 | 若年層の環境意識向上を促す情報提供手法の実証調査 福田 守宏(デロイト トーマツ コンサルティング マネジャー) |
| P-8 | 家庭内における省エネルギー行動と意識に関する研究 吉田 一居(東京都市大学大学院 環境情報学研究科 博士後期課程/株式会社東急不動産 R&D センター) |
| P-9 | 48時間停電自立実験におけるエネルギー・温熱環境に関する研究 金 ジョンミン(早稲田大学 理工学術院総合研究所 次席研究員) |
| P-10 | コミュニケーションロボットの発話による行動変容の可能性 宮本 登(東京ガス 暮らしソリューション技術部) |
| P-11 | 節水に関する行動変容効果の可能性 荒木 葉子(新渡戸文化短期大学 食物栄養学科 准教授) |
| P-12 | 彦岐市 SDGs 未来都市「住みつづけたいまちづくり運動」:中学生の活動を通じた市民の行動変容 岩本 和奏(住環境計画研究所 研究員) |
| P-13 | 地域分散型エネルギーコミュニティの発展に向けた調査研究 天羽 伸二(東京工業大学 環境・社会理工学院 イノベーション科学コース 博士後期課程) |
| P-14 | 住宅情報サイトにおける分譲住宅の環境性能に関する情報提供方法についての研究 関根 海央(早稲田大学大学院 創造理工学研究科) |
| P-15 | 省エネルギー行動のきっかけと意識および行動の変化 大塚 彩美(東京家政大学 特任講師) |
| P-16 | 会議や出張に伴うCO2排出量の算定とカーボン・オフセットへの適用 山根 美紀(みずほリサーチ&テクノロジーズ 環境エネルギー第2部 環境エネルギー政策チーム コンサルタント) |

